

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ふいおーれ			
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		～	令和8年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～	令和8年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが 期待されること	工夫していることや意識的に行っている 取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境要因として、賃貸だが戸建ての物件を活用していることで、利用児童が安心して通所できる、気持ちを開放できる空間を提供することができる点です。	ただのアットホームな空間で終わらせず、落ち着いた空間の中でも、利用児童がより活動しやすい視覚的な配慮や安全対策を行っています。	経年劣化が進み、色々なところに整備が必要な部分が出てきているので、それを整備すること。
2	給食を提供することにより、生活面のサポートや食育に関して、より密接な支援を提供することができます。	安心・安全な給食を提供すること、児童一人一人に合わせた形状や食事介助等を保護者にしっかりと聞き取り実行する事を大切にしながら提供しています。アレルギー対応に関しても保護者・ドクターの指示のもと適切に提供していきます。	様々なバリエーション等に加えて、安心・安全対策を、現在も十分行っていますが、継続して取り組んでいきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の立地の状況により、地域の集団との交流機会の少なさは改善できておらず、課題として残っています。	事業所の立地環境等の外的要因が大きいのかと考えています。	どのような方法で、どのような機関と繋がり、実際に交流含めた連携を図ることができるかを精査していきます。
2			
3			